

平成29年度 竹原市地域公共交通会議の開催について

1. 目的

○道路運送法の規定に基づく地域公共交通会議

地域の実情に応じた乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等についての協議

○市の地域公共交通施策の推進に関する協議の場

市の持続可能な地域公共交通のあり方及び実現方法を協議



議論する事項

- 将来にわたる持続可能な地域公共交通の形成
- 本市の地域公共交通全体としての今後のあり方・方向性
- 将来のまちづくりを見据え、今後取り組むべき事業の方向性

2. 会議構成委員

学識経験者、鉄道・バス・タクシー・フェリー等の交通事業者、市民代表、各行政機関等の多様な分野から参画して会議を構成

3. 市の取組（平成29年度）

上記の「議論する事項」を議論するベースとなる基礎資料を整理するため、各種調査業務の実施

○竹原市地域公共交通現状調査分析調査事業の実施

・本市の現状整理

人口や施設の分布状況、公共交通の種類ダイヤなど

・アンケート（市民、高校生、公共交通利用者、観光客）

公共交通の利用実態、ニーズ把握、公共交通への考え方

・交通事業者に対する聞き取り（JR、バス、航路、タクシー）

近年の利用動向や取組んだサービス改善等の事例・成果・課題・運行事業者としての考え 等

4. 会議の実施状況

○第1回 平成29年6月5日（月）

議題 （1）会長及び副会長の選出について

（2）竹原市地域公共交通現状分析調査事業の概要について

その他 竹原市都市計画マスタープラン及び竹原市立地適正化計画の概要について



コンパクト・プラス・ネットワークの重要性

都市構造上の課題、立地適正化計画の概要、策定スキーム・スケジュール等についての説明（都市部局）

○第2回 平成29年12月13日

議題（1）竹原市地域公共交通現状分析調査を通して見える現状及び問題・課題等
について

説明項目（抜粋）

●路線バス、福祉バス、鉄道、乗合タクシー等の現状及び問題・課題

- ・かぐや姫号を除く全路線バスで利用者は減少傾向で、市内の乗降がほとんどで、市外への利用はごく少数である。
- ・鉄道利用者数は年々減少傾向にある。
- ・バスや鉄道等の乗り継ぎや便数、時間帯等の改善に関する要望がある。

●複数の交通機関にまたがる現状及び問題・課題

- ・船と鉄道の乗り継ぎの距離が長く、高齢者や観光客にとっては大きな負担。
- ・遅延等の際、異なる交通機関の乗り継ぎがうまくできていない。

●ネットワークについて

- ・市中心部を回遊する交通機関がなく、比較的長い距離を徒歩で移動する高齢者がいる。
- ・観光客の滞在時間は半日以下がほとんどで、船と鉄道以外の公共交通の認知度が低い。
- ・概ね市域全体をカバーしているが、一部公共交通不便地域がある。

質疑（抜粋）

- ・各公共交通機関のダイヤ・乗り継ぎの部分も整理・見える化してまとめていく必要がある。
- ・市の補助の状況や取組んでいる利用促進施策などについても報告が必要である。
- ・公共交通空白地域がどのような地域・属性・ニーズがあるのかについて分析が必要である。



平成30年度以降の議論

《今後の方向性》

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・これまでの基礎調査のさらなる分析を進めて、課題・問題点を抽出・竹原市の地域公共交通の在り方及び実現方法を協議 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|